



2021年2月期 決算短信〔日本基準〕（連結）

2021年4月13日

上場会社名 株式会社スタジオアタオ 上場取引所 東
 コード番号 3550 URL https://www.studioatao.jp
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 瀬尾 訓弘
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役 管理部 (氏名) 山口 敬之 TEL 03-6226-2772
 ゼネラルマネージャー
 定時株主総会開催予定日 2021年5月24日 配当支払開始予定日 2021年5月25日
 有価証券報告書提出予定日 2021年5月25日
 決算補足説明資料作成の有無：有
 決算説明会開催の有無：有（機関投資家・アナリスト向け）

(百万円未満切捨て)

1. 2021年2月期の連結業績（2020年3月1日～2021年2月28日）

(1) 連結経営成績

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年2月期	4,005	△3.3	94	△88.0	95	△88.0	35	△93.5
2020年2月期	4,142	△1.7	788	6.0	789	5.8	540	1.5

(注) 包括利益 2021年2月期 35百万円 (△93.5%) 2020年2月期 540百万円 (1.5%)

	1株当たり 当期純利益	潜在株式調整後 1株当たり当期純利益	自己資本 当期純利益率	総資産 経常利益率	売上高 営業利益率
	円 銭	円 銭	%	%	%
2021年2月期	2.60	2.57	1.3	2.6	2.4
2020年2月期	42.55	41.90	24.9	28.2	19.0

(注) 当社は、2019年6月1日付で普通株式1株につき2株の割合で株式分割を行っております。前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して、「1株当たり当期純利益」及び「潜在株式調整後1株当たり当期純利益」を算定しております。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2021年2月期	4,262	2,934	68.8	209.70
2020年2月期	2,988	2,442	81.7	191.57

(参考) 自己資本 2021年2月期 2,934百万円 2020年2月期 2,442百万円

(注) 当社は、2019年6月1日付で普通株式1株につき2株の割合で株式分割を行っております。前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して、「1株当たり純資産」を算定しております。

(3) 連結キャッシュ・フローの状況

	営業活動による キャッシュ・フロー	投資活動による キャッシュ・フロー	財務活動による キャッシュ・フロー	現金及び現金同等物 期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
2021年2月期	△181	△50	667	2,348
2020年2月期	744	△118	△107	1,913

2. 配当の状況

	年間配当金					配当金総額 (合計)	配当性向 (連結)	純資産配当 率(連結)
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計			
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	百万円	%	%
2020年2月期	—	0.00	—	5.00	5.00	63	11.8	2.9
2021年2月期	—	0.00	—	5.00	5.00	69	192.5	2.5
2022年2月期(予想)	—	0.00	—	5.00	5.00	—	—	—

(注) 当社は、2019年6月1日付で普通株式1株につき2株の割合で株式分割を行っております。

3. 2022年2月期の連結業績予想（2021年3月1日～2022年2月28日）

（%表示は、対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	4,500	12.3	0	△100.0	0	△100.0	0	△100.0	0.00

※ 注記事項

（1）期中における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無

（2）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更：無
- ② ①以外の会計方針の変更：無
- ③ 会計上の見積りの変更：無
- ④ 修正再表示：無

（3）発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2021年2月期	14,007,000株	2020年2月期	12,750,000株
② 期末自己株式数	2021年2月期	12,296株	2020年2月期	296株
③ 期中平均株式数	2021年2月期	13,481,849株	2020年2月期	12,694,606株

（注）当社は、2019年6月1日付で普通株式1株につき2株の割合で株式分割を行っております。前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して、「期末発行済株式数」、「期末自己株式数」及び「期中平均株式数」を算定しております。

（参考）個別業績の概要

1. 2021年2月期の個別業績（2020年3月1日～2021年2月28日）

（1）個別経営成績

（%表示は対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年2月期	4,005	△3.3	93	△88.2	93	△88.1	34	△93.7
2020年2月期	4,142	△1.7	786	6.0	788	5.8	539	1.5

	1株当たり 当期純利益	潜在株式調整後 1株当たり当期純利益
2021年2月期	円 銭 2.54	円 銭 2.52
2020年2月期	42.49	41.84

（注）当社は、2019年6月1日付で普通株式1株につき2株の割合で株式分割を行っております。前事業年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して、「1株当たり当期純利益」及び「潜在株式調整後1株当たり当期純利益」を算定しております。

（2）個別財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2021年2月期	4,248	2,925	68.9	209.04
2020年2月期	2,975	2,434	81.8	190.91

（参考）自己資本 2021年2月期 2,925百万円 2020年2月期 2,434百万円

（注）当社は、2019年6月1日付で普通株式1株につき2株の割合で株式分割を行っております。前事業年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して、「1株当たり純資産」を算定しております。

※ 決算短信は公認会計士又は監査法人の監査の対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束するものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予測の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項については、添付資料3ページ「1. 経営成績等の概況（4）今後の見通し」をご覧ください。

決算補足説明資料はT D n e t及び当社ウェブサイトで同日開示しています。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当期の経営成績の概況	2
(2) 当期の財政状態の概況	2
(3) 当期のキャッシュ・フローの概況	2
(4) 今後の見通し	3
2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方	3
3. 連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 連結貸借対照表	4
(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書	5
連結損益計算書	5
連結包括利益計算書	6
(3) 連結株主資本等変動計算書	7
(4) 連結キャッシュ・フロー計算書	8
(5) 連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(追加情報)	9
(セグメント情報等)	9
(1株当たり情報)	10
(重要な後発事象)	10

1. 経営成績等の概況

(1) 当期の経営成績の概況

当連結会計年度におけるわが国経済は、世界的な新型コロナウイルス感染症の感染拡大に伴う経済活動の停滞や縮小等により、企業収益や個人消費が急速に悪化しております。当社グループの主要な関連業界である百貨店等を含む小売業界におきましても、新型コロナウイルス感染症の感染拡大による外出自粛や商業施設の休業、時間短縮営業等の影響により経営環境が悪化しており、今後の見通しについても不透明な状況が続いております。

このような環境の中、当社グループは、「ファッションにエンタテインメントを」を理念とし、オリジナルバッグ・財布等の提供を通じて「お客様に非日常のワクワク感を提供すること」を目指し、資金調達等による財務基盤の強化を図りながら、引続き販売促進費への投資やSNS活動の強化等を行っております。また、キャラクターブランドであるILEMERのブランド価値向上のための投資を強化し、新規出店や期間限定ショップの開催、オフィシャルファンクラブの開設、サプライズ・ハッピードール等の商品拡充を図るとともに、テレビCMやタレント・YouTuberを起用したプロモーション等を実施しております。併せて、新型コロナウイルス感染症の感染拡大を防ぐため、ILEMERブランドの布マスクや布マスクに係る売上金の一部を寄付する活動を行っております。

その結果、当連結会計年度の販売業態別の売上高は、新型コロナウイルス感染症の感染拡大に伴う約2カ月間の全店舗の臨時休業や消費者の外出自粛等の影響により、店舗販売が1,365,247千円(前連結会計年度比33.6%減)となった一方、ATAO、IANNE及びILEMERブランドの積極的な販売促進費の投資による売上拡大等の影響によりインターネット販売が2,549,321千円(同29.7%増)となりました。

以上により、当連結会計年度の業績は、売上高が4,005,491千円(前連結会計年度比3.3%減)となり、ATAOブランドに係る店舗販売の減少及びILEMERブランドへの積極投資等により、営業利益は94,198千円(同88.0%減)、経常利益は95,009千円(同88.0%減)、親会社株主に帰属する当期純利益は35,011千円(同93.5%減)となりました。

(2) 当期の財政状態の概況

当連結会計年度末の資産については、総資産4,262,775千円であり、前連結会計年度末と比較して1,274,030千円増加しております。主な要因は、現金及び預金が435,072千円、売掛金が279,949千円、及び長期前払費用が407,905千円増加したことです。

負債につきましては、負債合計は1,328,148千円であり、前連結会計年度末と比較して781,805千円増加しております。主な要因は、長期借入金が616,372千円増加したことです。

純資産は2,934,626千円であり、前連結会計年度末と比較して492,224千円増加しております。主な要因は、資本金、資本剰余金がそれぞれ260,481千円増加したことです。

(3) 当期のキャッシュ・フローの概況

当連結会計年度末における現金及び現金同等物は、2,348,216千円となり、前連結会計年度末より435,072千円増加いたしました。各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次の通りであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果使用したキャッシュ・フローは181,872千円(前連結会計年度は744,226千円の獲得)となりました。これは主に、税金等調整前当期純利益91,814千円による資金の増加があった一方、売上債権の増加額279,949千円、法人税等の支払額238,539千円による資金の減少があったことによるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果使用したキャッシュ・フローは50,614千円(前連結会計年度比67,783千円の減少)となりました。これは主に、有形固定資産の取得による支出33,004千円によるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果得られたキャッシュ・フローは667,560千円(前連結会計年度は107,408千円の使用)となりました。これは主に、長期借入れによる収入1,000,000千円及び長期借入金の返済による支出273,844千円があったことによるものであります。

(4) 今後の見通し

わが国経済の今後の見通しは、新型コロナウイルス感染症の感染拡大の影響等により引続き非常に不透明であり、当連結会計年度末以降も感染が再拡大している中で、今後も当面は外出自粛等の影響を受けると考えておりますが、需要は徐々に回復していくものと想定しており、現時点において再度の店舗臨時休業は見込んでおりません。

また、引続きATAO及びILEMERブランドを中心とした積極的な販売促進費への投資等を予定しており、これらを踏まえ、2022年2月期の連結業績見通しにつきましては、売上高4,500,000千円、営業利益0千円、経常利益0千円、親会社株主に帰属する当期純利益0千円を見込んでおります。

売上高の予想値は、インターネット販売及び各店舗販売等の積上げにより策定しております。なお、インターネット及び店舗における販売に関し、顧客に対し当社が直接販売を行うのではなく、消化卸方式での契約となっている一部の取引先への売上高は、顧客の方々への販売価格ではなく卸売価格で計上しております。また、当社では一定の季節変動があること及びインターネット販売におけるプロモーション戦略や出荷時期等の影響により業績が変動する可能性があることから、これらの傾向等を踏まえて予算を策定しております。

売上原価は、過去の各店舗の実績原価率、インターネット販売に関する実績原価率を勘案して前年度の実績と同程度の原価率を設定し、売上高に乗じて売上原価を算定しております。

また、販売費及び一般管理費は、各種販売促進費や人件費の他、インターネット経費及び店舗経費等を合算して算定しております。

引続き「トレンドに左右されない商品企画と、定番商品を人気商品化するノウハウ」を強みとして、O2O戦略の強化を図り、インターネット販売及び店舗販売等の継続的な成長を目指してまいります。また、キャラクターとブランドを融合させたエンタテインメントビジネスの強化に向け、積極的に先行投資を行い、中長期的に取り組んでまいります。

2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方

当社グループは、国内の同業他社との比較可能性等を考慮し、会計基準につきましては日本基準を適用しております。

なお、今後につきましては、国際会計基準の適用動向等、諸情勢を考慮しながら、適切に対応していく方針であります。

3. 連結財務諸表及び主な注記

(1) 連結貸借対照表

(単位:千円)

	前連結会計年度 (2020年2月29日)	当連結会計年度 (2021年2月28日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,913,143	2,348,216
売掛金	274,182	554,132
商品	487,366	462,646
その他	12,373	180,676
流動資産合計	2,687,065	3,545,671
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	132,668	149,189
その他(純額)	15,203	11,335
有形固定資産合計	147,872	160,524
無形固定資産	11,364	7,463
投資その他の資産		
長期前払費用	—	407,905
繰延税金資産	47,759	34,102
その他	94,682	107,107
投資その他の資産合計	142,441	549,114
固定資産合計	301,678	717,103
資産合計	2,988,744	4,262,775
負債の部		
流動負債		
買掛金	8,059	82,416
1年内返済予定の長期借入金	114,439	224,223
未払金	129,239	267,050
未払法人税等	143,884	435
ポイント引当金	20,442	25,562
その他	58,778	35,932
流動負債合計	474,844	635,620
固定負債		
長期借入金	36,705	653,077
退職給付に係る負債	12,344	14,760
資産除去債務	22,449	24,690
固定負債合計	71,498	692,528
負債合計	546,342	1,328,148
純資産の部		
株主資本		
資本金	131,205	391,686
資本剰余金	121,205	381,686
利益剰余金	2,190,328	2,161,591
自己株式	△338	△338
株主資本合計	2,442,401	2,934,626
純資産合計	2,442,401	2,934,626
負債純資産合計	2,988,744	4,262,775

(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書
(連結損益計算書)

(単位:千円)

	前連結会計年度 (自 2019年3月1日 至 2020年2月29日)	当連結会計年度 (自 2020年3月1日 至 2021年2月28日)
売上高	4,142,804	4,005,491
売上原価	1,492,573	1,471,756
売上総利益	2,650,230	2,533,735
販売費及び一般管理費		
販売促進費	623,042	1,093,563
ポイント引当金繰入額	3,584	5,119
給料及び手当	229,646	193,724
地代家賃	229,319	193,035
支払手数料	306,421	365,435
その他	470,173	588,657
販売費及び一般管理費合計	1,862,187	2,439,537
営業利益	788,043	94,198
営業外収益		
受取家賃	1,164	977
保険解約返戻金	255	3,829
消費税差額	242	—
その他	130	303
営業外収益合計	1,792	5,109
営業外費用		
支払利息	610	4,298
営業外費用合計	610	4,298
経常利益	789,225	95,009
特別利益		
助成金収入	—	26,817
特別利益合計	—	26,817
特別損失		
店舗休業損失	—	29,597
固定資産除却損	49	414
減損損失	18,071	—
特別損失合計	18,120	30,012
税金等調整前当期純利益	771,104	91,814
法人税、住民税及び事業税	239,047	43,146
法人税等調整額	△8,051	13,656
法人税等合計	230,996	56,803
当期純利益	540,108	35,011
親会社株主に帰属する当期純利益	540,108	35,011

(連結包括利益計算書)

(単位:千円)

	前連結会計年度 (自 2019年3月1日 至 2020年2月29日)	当連結会計年度 (自 2020年3月1日 至 2021年2月28日)
当期純利益	540,108	35,011
包括利益	540,108	35,011
(内訳)		
親会社株主に係る包括利益	540,108	35,011
非支配株主に係る包括利益	—	—

(3) 連結株主資本等変動計算書

前連結会計年度(自 2019年3月1日 至 2020年2月29日)

(単位:千円)

	株主資本					純資産合計
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計	
当期首残高	128,285	118,285	1,650,220	△338	1,896,452	1,896,452
当期変動額						
新株の発行	2,920	2,920			5,841	5,841
親会社株主に帰属する当期純利益			540,108		540,108	540,108
剰余金の配当					—	—
当期変動額合計	2,920	2,920	540,108	—	545,949	545,949
当期末残高	131,205	121,205	2,190,328	△338	2,442,401	2,442,401

当連結会計年度(自 2020年3月1日 至 2021年2月28日)

(単位:千円)

	株主資本					純資産合計
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計	
当期首残高	131,205	121,205	2,190,328	△338	2,442,401	2,442,401
当期変動額						
新株の発行	260,481	260,481			520,962	520,962
親会社株主に帰属する当期純利益			35,011		35,011	35,011
剰余金の配当			△63,748		△63,748	△63,748
当期変動額合計	260,481	260,481	△28,737	—	492,224	492,224
当期末残高	391,686	381,686	2,161,591	△338	2,934,626	2,934,626

(4) 連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:千円)

	前連結会計年度 (自 2019年3月1日 至 2020年2月29日)	当連結会計年度 (自 2020年3月1日 至 2021年2月28日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前当期純利益	771,104	91,814
減価償却費	41,093	26,032
減損損失	18,071	—
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	2,738	2,415
ポイント引当金の増減額(△は減少)	3,584	5,119
支払利息	610	4,298
助成金収入	—	△26,817
売上債権の増減額(△は増加)	21,285	△279,949
仕入債務の増減額(△は減少)	△94,075	74,356
たな卸資産の増減額(△は増加)	189,601	24,720
未払金の増減額(△は減少)	40,588	91,713
その他の資産の増減額(△は増加)	△1,439	45,512
その他の負債の増減額(△は減少)	△12,950	△20,750
その他	130	△4,339
小計	980,344	34,127
利息及び配当金の受取額	17	25
利息の支払額	△597	△4,303
法人税等の支払額	△235,538	△238,539
助成金の受取額	—	26,817
営業活動によるキャッシュ・フロー	744,226	△181,872
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△96,229	△33,004
無形固定資産の取得による支出	△1,744	—
差入保証金の差入による支出	△17,123	△15,707
資産除去債務の履行による支出	—	△5,185
その他	△3,301	3,282
投資活動によるキャッシュ・フロー	△118,398	△50,614
財務活動によるキャッシュ・フロー		
長期借入れによる収入	—	1,000,000
長期借入金の返済による支出	△113,249	△273,844
株式の発行による収入	5,841	5,100
配当金の支払額	—	△63,695
財務活動によるキャッシュ・フロー	△107,408	667,560
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	518,420	435,072
現金及び現金同等物の期首残高	1,394,723	1,913,143
現金及び現金同等物の期末残高	1,913,143	2,348,216

(5) 連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(追加情報)

当社グループは、新型コロナウイルス感染症の感染拡大により、2020年4月8日から店舗の臨時休業を行っていましたが、同年6月1日までに全店舗の営業を再開しております。しかしながら、店舗の営業再開後も不安定な状態が続いており、また、当連結会計年度末以降も感染が再拡大している中で、今後も当面は外出自粛等の影響を受けると考えておりますが、需要は徐々に回復していくものと仮定しており、当該仮定を繰延税金資産の回収可能性の判断及び固定資産の減損会計の適用に係る会計上の見積りに反映しております。なお、将来における実績値に基づく結果が、これらの見積り及び仮定とは異なる可能性があります。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

当社グループの事業セグメントは、ファッションブランドビジネス事業のみの単一セグメントであるため、記載を省略しております。

(1株当たり情報)

	前連結会計年度 (自 2019年3月1日 至 2020年2月29日)	当連結会計年度 (自 2020年3月1日 至 2021年2月28日)
1株当たり純資産額	191.57円	209.70円
1株当たり当期純利益	42.55円	2.60円
潜在株式調整後1株当たり当期純利益	41.90円	2.57円

(注) 1 当社は、2019年6月1日付で普通株式1株につき2株の割合で株式分割を行っております。前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定し、1株当たり純資産額、1株当たり当期純利益及び潜在株式調整後1株当たり当期純利益を算定しております。

2 1株当たり当期純利益及び潜在株式調整後1株当たり当期純利益の算定上の基礎は、以下の通りであります。

	前連結会計年度 (自 2019年3月1日 至 2020年2月29日)	当連結会計年度 (自 2020年3月1日 至 2021年2月28日)
1株当たり当期純利益		
親会社株主に帰属する当期純利益(千円)	540,108	35,011
普通株主に帰属しない金額(千円)	—	—
普通株式に係る親会社株主に帰属する当期純利益(千円)	540,108	35,011
普通株式の期中平均株式数(株)	12,694,606	13,481,849
潜在株式調整後1株当たり当期純利益		
親会社株主に帰属する当期純利益調整額(千円)	—	—
普通株式増加数(株)	197,268	131,774
(うち新株予約権(株))	(197,268)	(131,774)
希薄化効果を有しないため、潜在株式調整後1株当たり当期純利益金額の算定に含めなかった潜在株式の概要	—	—

(重要な後発事象)

該当事項はありません。